

令和 3 年度第 3 回和光市史平成版編集委員会議事録			実施日：令和 3 年 11 月 16 日（火）	
			13:00～15:00	
場所	ZOOM 会議	出席者	編集委員：宮瀧先生、佐々木先生、磯、黒沢 和光市(事務局)：鈴木様、石田様、相田様 ぎょうせい：徳島	
議題	プレ初校（「和光市の現在（いま）をうつしだす」）和光市史編さん委員会委員の意見を受けての内容検討		配布物	各委員からの意見聴収の資料一式（ZOOM 会議に伴い、事前に和光市より、送付済み）
和光市史編さん委員会各委員からの意見について協議				
・今回も前回同様、各編さん委員からの意見の内容を踏まえ、その対応案について事務局から説明（和光市：石田様）。今回は、各委員から多くの意見が寄せられたことを踏まえ、事務局対応案の中から特に協議すべき必要があるものをピックアップしながら、宮瀧先生、佐々木先生、編集委員より質問・確認、協議を行った。 ・鈴木敏弘委員の「歴代議会活動の概要が必要だと思う」との意見に対して、宮瀧先生より、和光市の議会の特徴となるものや、市民が関心を持つような項目を検討する必要があるでは、との意見があり議論。「例えば、女性議員が初めて誕生した時期や、オンブズマン制度や議会傍聴制度、子ども議会など何か和光市として記載する内容はないか」（宮瀧先生）。事務局からは、和光市はひとり会派が多く女性議員が比較的多い特徴があるとのこと。結論としては、詳しい議会活動の情報は『議会史』を見ればいいことで、ここでは和光市の特徴となるようなものとして新たな項目が入れられないかという観点から、事務局でも調査し、検討することとした。→初校ゲラに向けて調整する ・SDGs の取り組みについては、和光市でも何か取り組んでいることがあるなら、具体的に記載しておいたほうが良いのでは（宮瀧先生）との意見があり、確認・検討することとした。→別紙 3 P148 に記載済み ・和光ブランドについては、商品の特徴や生産者名までは必要ないが、これまでに認定されたものの商品名だけは、全て列挙しておいたほうが良いとの結論となった。→別紙 3 P33 に記載済み ・ひとり親及びこどもの貧困の取組について触れて欲しいという意見については、掲載するよう内容を検討してしていくという結論になった。→初校ゲラに向けて調整する ・個人名はできるだけ入れない方向で行くことを再確認。また、「障害者」の表記について、厚生労働省をはじめとして全国的に「障がい者」の方向に移行していることから、和光市としては「障害者」で大丈夫かと宮瀧先生から事務局に確認あり。和光市としては、「議会で承認された市としての方針のため、このまま障害者の表記で問題なし」（事務局）との回答であったが、宮瀧先生から、平仮名書きは全国的な流れであり、外部からの批判の可能性もあるので、事務局はその対応ができるようにされたい、との念押しがあった。 ・佐々木先生より、市政に対する市民の反応について、可能な範囲でもっと記載できないか、特に介護保険については、事業のプランと実態、高齢者等の反応や感想、問題点や矛盾点などを記載できればいいのだが、との意見があり、今後検討を加えていくこととした。→初校ゲラに向けて調整する				
【今後の予定】				
・次回第 4 回の和光市史平成版編集委員会の予定は、1 月 18 日（火）。対面か ZOOM 会議かについては、日程が近づいた時点で決定する。				
内容は、初校ゲラ「和光市の歴史（かこ）をたどる」の編さん委員からの意見についての協議。				